

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和 5年 6月 30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市唐人2丁目5-25 TOJINシェアオフィス
団 体 名 公益財団法人佐賀未来創造基金
代表者職・氏名 代表理事 山田健一郎
電 話 番 号 0952-26-2228

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 公益財団法人佐賀未来創造基金
- 2 事業実施期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

CSOに対する助成

資金調達に課題を抱えることの多いCSOに、ふるさと納税で当財団が支援することにより、地域課題の解決がより進んでいくことが実現できた。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

①創設した基金の50%を助成し、50%は助成を受ける団体に対する研修・交流会及び訪問等支援を行うことで、団体の活動の一助（自立に向けた取組）につながることができた。

②寄附者の意志を反映させた団体への助成を行うことをきっかけに、その団体とのコミュニケーションの実施、団体のお困りごとに対し必要なサポートを当基金が行うことで、団体の活動の一助（自立に向けた取組）につながることができた。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

5 寄附金活用事業実績 : (別記1)

6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)

7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位:円]	うち寄附金 活用額 [単位:円]
①ふるさと納税による寄附金を財源とした基金・助成事業	①ふるさと納税による寄附金を財源に基金を創設し、県内CSOなどに助成金として分配するため ②佐賀県内CSO ③当財団が県から交付を受けた寄附金を財源に基金を創設(例:子ども・環境・まちづくり)し県内CSO等へ助成事業を行った。	①令和4年(2022年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日 ②佐賀県内	4,404,099	4,404,099
(GCF) ウクライナ待避者も安心して暮らせる多文化共生の佐賀に	①ウクライナからの待避者への支援を行い、多文化共生の社会づくりを目指す ②ウクライナからの待避者 ③「相談窓口」、「佐賀までの旅費支給」、「住居提供」、「生活支援物資(家具、食器類等)の提供」、「就学支援」、「地域と外国人の相互理解講座」などを実施	①令和4年(2022年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日 ②佐賀県内	465,750	465,750
(GCF) 進学を諦めない!ふるさと納税『入学応援給付金』プロジェクト2022	①地域全体で誰一人取り残さないような支え合える地域社会をつくりたい ②進学を目指す佐賀県内の中学3年生 ③集まった給付金を募集した中から選考、面談、採択し、給付を行う。	①令和4年(2022年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日 ②佐賀県内	570,360	570,360
(GCF) 進学を諦めない!ふるさと納税『入学応援給付金』プロジェクト2022	①地域全体で誰一人取り残さないような支え合える地域社会をつくりたい ②進学を目指す佐賀県内の中学3年生 ③集まった給付金を募集した中から選考、面談、採択し、給付を行う。	①令和4年(2022年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日 ②佐賀県内	3,377,220	3,377,220
(GCF) 進学を諦めない!地域内資源循環モデル「学生服バンク」プロジェクト	①貧困家庭やひとり親家庭の子どもたちへ学生服等のリユースプロジェクトを通じて、子どもたちを地域で育てる地域資源循環の仕組みづくりに取り組む ②低所得世帯・ひとり親世帯の子どもたち ③「学生服等の寄付募集・受付」「管理」「必要な方への寄贈」までの一連のモデル・システムを構築した。	①令和4年(2022年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日 ②佐賀県内	550,425	550,425
(GCF) どんな境遇の子どもたちも見捨てない!子どもたちの社会的孤立を防ぎ「誰一人取り残さない」を実現する佐賀県発『子ども救済システム』2022年度	①「誰一人取り残さない社会」を実現させること、他の地域でも活用できる「子どもの居場所ネットワーク」モデルの構築に挑戦 ②佐賀県内に住む子供たち ③「子どもの居場所」運営・開設支援、NPOによる居場所の運営支援及び訪問支援とネットワークづくり	①令和4年(2022年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日 ②佐賀県内	1,229,130	1,229,130
計			10,596,984	10,596,984

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		12,972,258
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	12,972,258
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	11,670,300
	前年度控除額(県事務経費)還付分	1,301,958
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		12,972,258
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	10,596,984
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	2,375,274
	返礼品等の調達に係る費用	1,455,900
	返礼品等の送付に係る費用	201,870
	広報に係る費用	717,504
	事務に係る費用	

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	0
-------------------------------------	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://saga-mirai.jp/%e6%83%85%e5%a0%b1%e9%96%8b%e7%a4%ba/>